



# あゆみ

青梅市立河辺小学校 学校便り  
4月号 No. 662 令和5年4月6日  
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

自己肯定感・自他尊重の心・向上心 ～ともに育むパートナーとして～

校長 関谷 望

今年は春の訪れが早く、様々な花が一斉に花開く中での令和5年度のスタートとなりました。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

新しい学年、新しい学級のスタートで、子供たちは少し緊張や不安も感じていることと思いますが、それと同時に「今年は〇〇をがんばろう」「〇年生として、がんばるぞ」という気持ちも高まっていることと思います。

この春休みの間に、校舎外壁等工事の竣工に合わせて、屋上に「**自分大好き・友達大好き・学校大好き・河辺小っ子**」という看板が取り付けられました。(以前あった看板が老朽化し、外されていましたが、令和3年度に実施した創立50周年事業実行委員会とPTAの皆様のご協力により、数年ぶりに新しい看板を取り付けることができました。ありがとうございました。)

この言葉は、平成23年度に河辺小学校が人権教育の研究をした際に、「かけがえのない『自分』を好きになって大切にしてほしい。自分を大切にできる人は『友達』(他者)の大切さもわかる人になることができる。さらに、グループやクラス・学年、そして『学校』(社会)も大切にできる人になれる。」というような思いがこめられて設定されました。

本校では、10年以上たった現在もこの言葉を「**自他尊重の心を学ぶ人権教育(ハートフル河辺プラン)**」のキャッチフレーズとして大切にしています。

人は人とのかかわりの中で成長していきます。子供にとっての「学校」は、学習を学ぶ場であることはもちろんですが、生活面のスキルや、友達との付き合い方、集団の中での行動の仕方、大人も含め異年齢の人との接し方など、多くのことを学んでいく「社会」でもあります。

人が集まって活動していくと、時には互いの思いや願いがぶつかってしまったり、いやな思いをしたりすることもあります。自信をなくして悩んでしまうこともあるものです。

河辺小の子供たちには、このキャッチフレーズのように、「自分を価値あるものと大切に思う『自己肯定感』、他者のことも大切な存在と考えることができる『自他尊重の心』、よりよい自分・グループ・クラス・学校を目指していこうという『向上心』を伸ばすことで、「自立し、課題に向かって解決し、友達や仲間と力を合わせ、前向きに生きていく力」をつけていってほしいと願っています。

こうした子供たちの力強い成長を支えていけるよう、令和5年度に新しく迎えた教職員・スタッフも含め、一丸となって取り組んでまいります。

保護者の皆様と「子供の大きな成長を願い、力を尽くすパートナー」として、ともに歩んでいきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いたします。



河辺小創立50周年  
キャラクター「うめどりちゃん」

**【青梅市立河辺小学校 教育目標】**

○ねばり強い子ども

健康で明るい心身を目指し、目標をもって根気強く努力する（自主性）

○すすんで学習する子ども

基礎的・基本的な学力を身に付け、試行錯誤をしながら、問題解決に取り組む（調整力）

○仲良くする子ども 自らを肯定的に捉え、他者を尊重し、認め合い支え合う人間関係をつくる  
（自他尊重の精神）